

CS-NET サロンの活動:初期キャリア研究者主体の企画の実施に向けて

研究支援委員会委員 保田真希(北翔大学短期大学部)



研究支援委員会では、初期キャリア研究者の情報交換および相互交流の促進を目的として、初期キャリア研究者のネットワーク(Creative Support Network:略称 CS-NET)を立ち上げました。2022年3月に実施したCS-NETの立ち上げイベントを皮切りに、現在までに7回(6回のサロンとプレ企画1回)のサロンを実施しています。2023年3月に、日本社会福祉学会ホームページでCS-NET(初期キャリア研究者のページ)が開設されました。なかでも、初期キャリア研究者の交流の場である「CS-NET サロン」のページでは、これまでの活動とこれからの活動が記載され、多くの方に活動内容を知っていただく機会となっています。地域や研究領域などに関わらず、気軽に交流をするCS-NETサロンは、回を重ねるごとに、つながり・居場所の創出や情報の獲得、キャリア形成の参考や不安の解消に寄与しつつあります。

そこで、今回はCS-NETサロンの今までの活動を振り返り、今後の活動についての展望を記したいと思います。第1回は「研究助成～獲得の苦悩と工夫～」(2022年11月)という題目で開催しました。初期キャリア研究者が感じる普段の研究活動や研究助成を獲得するまでの苦悩や体験談等を語っていただく機会になりました。第2回は「論文執筆-投稿から論文掲載までの苦悩と戦略-」(2023年3月)という題目で開催しました。誰しも、一度は査読を通らない・論文記載に至らなかった経験をしたことがあるのではないのでしょうか。実際に査読を行う立場の先生の講演を聞き、初期キャリア研究者も自由に交流することで、論文執筆について考える機会になりました。第3回は「研究とプライベートライフのやりくりと苦悩」(2023年8月)という題目で開催しました。研究と教育活動、仕事(学内・学外、アルバイトなど)、プライベートライフをどのようにやりくりをしているのか、修士・博士課程の院生(ストレート、社会人院生、留学生)、すでに職を得ている方など、それぞれの体験談と苦悩を共有することでキャリアデザインに繋がる機会となりました。第4回は「初期キャリア研究者にとっての共同研究の意義-可能性、苦悩、戦略-」(2024年2月)です。基調講演・話題提供・グループワークにより、共同研究の体験談や苦悩・工夫などを共有し、研究の幅が広がる機会になりました。プレ企画「Gatherを活用したCS-NETサロン」は2024年3月に開催しました。オンラインの場合、サロン終了後に交流することが難しいという課題が残ります。課題を克服すべく、コミュニケーションツールの1つであるGatherを活用し、メタバースで自由に交流をしました。第5回は「サロンを企画してみませんか?」(2024年12月)という題目で開催しました。自身の体験談を話し、取り組みたい企画について交流しました。第6回は「社会福祉学の研究者にできるソーシャルインパクトのやり方を考える」(2025年9月)です。社会福祉学研究者としていかに社会貢献できるのか、具体例を知る機会になりました。

毎回のサロン終了後に、実際に参加した方に学会ニュースの記事を書き添えていただいています。サロン終了後も、刺激や励みとなる機会に繋がる工夫を模索しています。

2026年3月に、第7回CS-NETサロン「研究を進める上での工夫と悩みー修士論文、博士論文執筆とその後のキャリア」(オンライン開催)を企画中です。修士論文を執筆した後の社会人院生の仕事と研究は?、修士論文や博士論文を執筆中のストレート院生、留学生に話題提供をしていただいた後に、グループに分かれて自由に意見交流をしていただきます。ぜひ、キャリアデザインの参考にしてみませんか?皆さんの参加をお待ちしています。

そして、初期キャリア研究者主体の企画も実現に向けて活動中です。「〇〇先生の話聞いてみたい!」「研究会を開催したい」など、初期キャリア研究者自身が企画を立案し、研究会やサロンを開催できる場としてサロンを活用していただき、初期キャリア研究者の教育・研究活動の活性化に繋がればと感じています。

ぜひ、一緒にCS-NETサロンを企画してみませんか?引き続き、皆様のご経験やお知恵をお借りしながら、活動してまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。